

Dell™ 1907FPVフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

モニターについて

[正面図](#)

[後方図](#)

[側面図](#)

[底面図](#)

[モニター仕様](#)

[モニターを清掃する](#)

調整可能モニター・スタンドを使う

[スタンドを取り付ける](#)

[ケーブルを調整する](#)

[傾き、回転および高さを利用する](#)

[スタンドを取り外す](#)

モニターを設定する

[モニターを接続する](#)

[正面パネルボタンを使う](#)

[OSDを使う](#)

[最適解像度を設定する](#)

[Dellサウンドバー \(オプション\) を使う](#)

モニターを回転させる

[モニターの回転を変更する](#)

[オペレーティングシステムにて回転の設定をする](#)

問題を解決する

[モニターのトラブルシューティング](#)

[全般問題](#)

[製品別の問題](#)

[USB問題](#)

[サウンドバーに関するトラブルシューティング](#)

付録

[安全情報](#)


[FCC通知\(米国のみ\)](#)


[Dellに問い合わせ](#)

[モニター設定ガイド](#)

注、注記および注意

 **注意：** 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。

 **注記：** モニタが正常に作動しない場合、特に異常な音や臭いが発生する場合は、ただちに電源プラグを抜いて、デルテクニカルサポートに連絡してください。

 **注意：** 注意は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

本文中の情報は、通知することなく変更することがあります。

© 2006 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 *Dell*、*DELL* ロゴ、*Inspiron*、*Dell Precision*、*Dimension*、*OptiPlex*、*Latitude*、*PowerEdge*、*PowerVault*、*PowerApp* および *Dell OpenManage* は、Dell社の商標です。*Microsoft*、*Windows*、および *Windows NT*は、マイクロソフト社の登録商標です。*Adobe*はAdobe Systems社の商標で、一部の管轄区域で登録されていることがあります。*ENERGY STAR*は、米国環境保護省の登録商標です。*ENERGY STAR* パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、*ENERGY STAR* ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

Model 1907FPV

2006年11月

Rev. A02

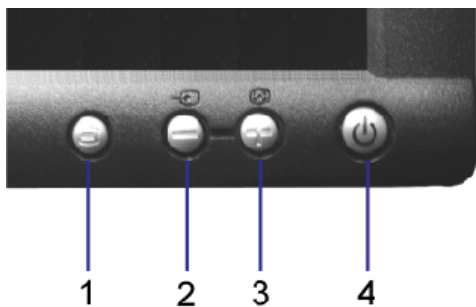
[目次ページに戻る](#)

モニターについて

Dell™ 1907FPVフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

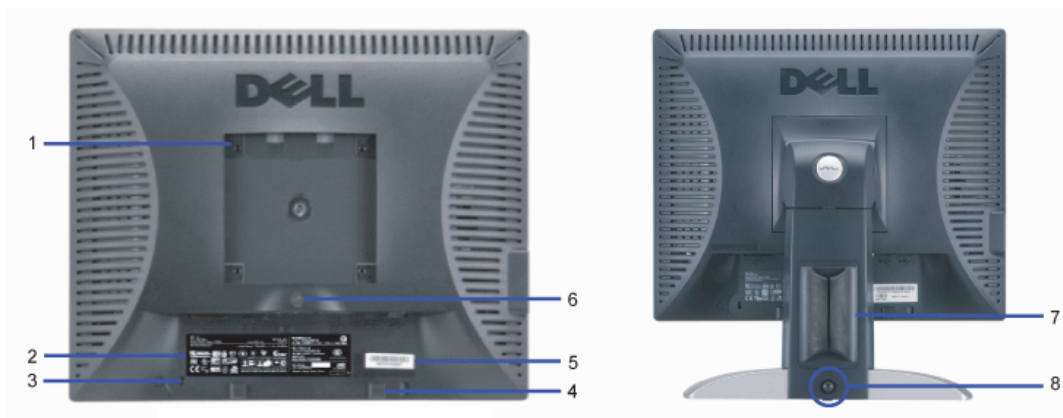
- [正面図](#)
- [後方図](#)
- [底面図](#)
- [側面図](#)
- [モニター仕様](#)
- [モニターを清掃する](#)

正面図



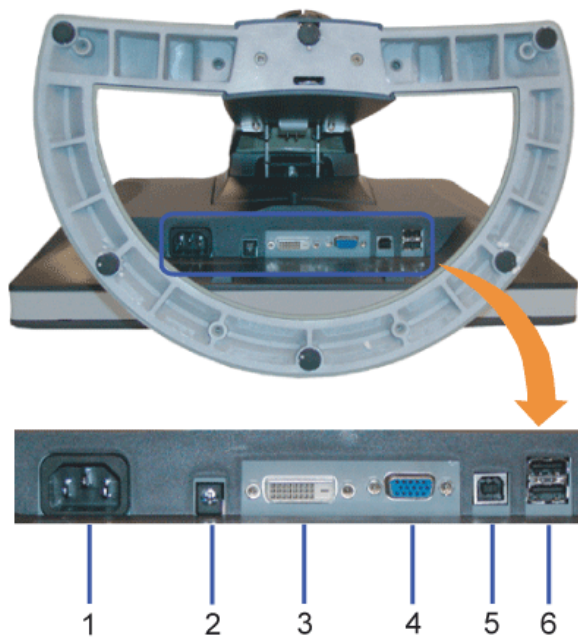
1.	OSDメニュー/選択ボタン
2.	ビデオ入力選択/下ボタン
3.	自動調節/上ボタン
4.	電源ボタン（電源ライトインジケータ付き）

後方図



1	VESA取付ホール(100mm) (取り付けたベースプレートの背面)	これを使って、モニターを取り付けます。
2	規制定格ラベル	規制承認を表示します。
3	セキュリティ・ロック・スロット	スロットのあるセキュリティ・ロックを使用して、モニターを固定します。
4	Dellサウンドバー取付ブラケット	オプションのDellサウンドバーを取り付けます。
5	バーコード・シリアル番号ラベル	Dellのテクニカルサービスに問い合わせが必要な場合は、このラベルを参照してください。
6	スタンド取外しボタン	押して、スタンドを取り外します。
7	ケーブル・ホルダ	ケーブルをホルダに入れて、ケーブルの操作をやすくします。
8	ロックダウン/取外しボタン	モニターを下方に押し、ボタンを押して、モニターのロックを解除します。次に、モニターを必要な高さまで持ち上げます。

底面図



1	電源コネクタ	電源ケーブルを挿入します。
2	Dellサウンドバー電源コネクタ	サウンドバー用電源コード (オプション) を接続します。
3	DVIコネクタ	コンピュータをDVIケーブルに接続します。
4	VGAコネクタ	コンピュータをVGAケーブルに接続します。
5	USBアップストリーム・コネクタ	モニターに接続されたUSBケーブルをモニターとコンピュータに接続します。このケーブルを接続すると、モニターの側面および底面にあるUSBコネクタを使用することができます。
6	USBコネクタ	USBデバイスを接続する。



注意：このコネクタは、コンピュータおよびモニター上のUSBアップストリーム・コネクタ上にUSBケーブルを接続した後でのみ使用できます。

側面図



左側面


右側面

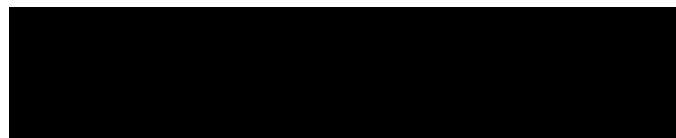
モニター仕様

電源管理モード

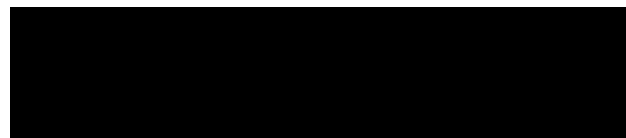
VESA DPMTM 準拠ディスプレイ・カードまたはPC上でインストールしたソフトウェアを使った場合、モニターは、未使用時に、自動的に電源消費の省力を行います。これを、「電源セーブモード」と呼びます。キーボード、マウスまたはその他入力デバイスからの入力をコンピュータが検出すると、モニターが自動的に「立ち上がり」ます。次の表は、この自動電源セーブ機能の電源消費と信号を表したものです：

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転 (DellサウンドバーおよびUSBが有効になっている場合)	有効	有効	有効	緑	65W (最大)
通常運転	有効	有効	有効	緑	32W (一般)
無効モード	無効	無効	空白	黄色	2W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

 注意： OSDは、「通常運転」モードでのみ機能します。無効モードで [メニュー] または [プラス] ボタンを押した場合に、次のメッセージのうち1つが表示されます。



または



コンピュータを有効にして、モニターを「立ち上げ」、[OSD](#)にアクセスします。

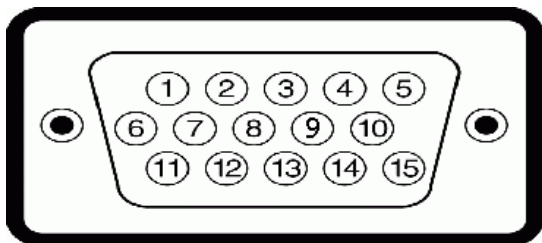
本モニターは、ENERGY STAR®-準拠で、TCO '99 / TCO '03 電源と互換性があります。



* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

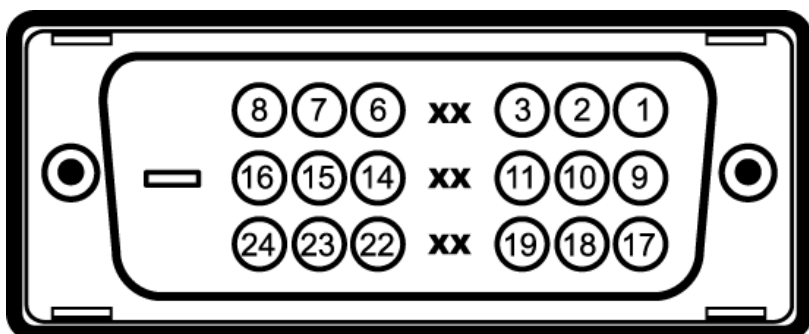
ピン割当


15-pin D-Sub コネクタ



ピン数	15 - Pin 側面信号ケーブルのモニター側面
1	ビデオ - 赤
2	ビデオ - 緑
3	ビデオ - 青
4	GND
5	DDC-GND
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	DDC +5V
10	自己テスト
11	GND
12	DDCデータ
13	H-同期
14	V-同期
15	DDCクロック

24Pin デジタルのみ DVI コネクタ



 注意： Pin1は、上部右にあります。

ピン	信号割当	ピン	信号割当	ピン	信号割当
1	T.M.D.S. データ2-	9	T.M.D.S. データ1-	17	T.M.D.S. データ0-
2	T.M.D.S. データ2+	10	T.M.D.S. データ1+	18	T.M.D.S. データ0+
3	T.M.D.S. データ2/4シールド	11	T.M.D.S. データ1/3シールド	19	T.M.D.S. データ0/5シールド
4	接続なし	12	接続なし	20	接続なし
5	接続なし	13	接続なし	21	接続なし
6	DDCクロック	14	+5V電源	22	T.M.D.S. クロックシールド
7	DDCデータ	15	自己テスト	23	T.M.D.S. クロック+
8	接続なし	16	ホットプラグ検出	24	T.M.D.S. クロック-

ユニバーサル・シリアルバス (USB) インターフェース

このモニターは、高速認定USB2.0インターフェースをサポートしています。

	データ率	電源消費
高速	480Mbps	2.5W (最大、各ポート)
全速度	12Mbps	2.5W (最大、各ポート)



低速度	1.5Mbps	2.5W (最大、各ポート)

USBポート：

- 1アップストリーム - 後方
- 4ダウンストリーム - 後方に2つ、左側面に2つ

注意：USB2.0機能には、2.0対応コンピュータが必要です。

注意：モニターのUSBインターフェースは、モニターの電源がオンになっている場合（あるいは電源セーブモードで）のみ作動します。モニターをオフして、もう一度オンにすることで、USBインターフェースを再度数え、付属の周辺機器が数秒後、通常機能に回復させます。

プラグ・アンド・プレイ機能

プラグ・アンド・プレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ・データ・チャンネル（DDC）プロトコルを使って、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ特定データ（EDID）を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。必要な場合、ユーザが、異なる設定を選択できますが、ほとんどの場合は、モニターは自動的にインストールします。

全般

モデル番号 **1907FPV**

フラットパネル

スクリーン・タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
画面寸法	19インチ (19インチ表示可能画像サイズ)
事前設定ディスプレイ領域：	
水平	376 mm (14.8 インチ)
垂直	301 mm (11.85 インチ)
ピクセル・ピッチ	0.294 mm
表示角度	170°(垂直) タイプ、170°(水平) タイプ
ルミネランス出力	250 CD/m 2(タイプ)
コントラスト比	1000 ~ 1 (タイプ)
面板コーティング	ハードコーティング3Hでの遮光
バックライト	CCFL (4) エッジライト・システム
応答時間	20 ms一般

解像度

水平走査幅	30KHz~81KHz (自動)
垂直走査幅	56Hz~76Hz (自動)
事前設定の最適解像度	60Hzで1280 x 1024
事前設定の最高解像度	75Hzで1280 x 1024

事前設定ディスプレイ・モード

ディスプレイ・モード	水平周波数 (k Hz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル・クロック (MHz)	同期極 (水平/垂直)
VESA、720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA、640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-

VESA、800 x 600	37.9	60.3	49.5	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108	+/+
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	135.0	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+

電気系統

ビデオ入力信号	アナログRGB、0.7ボルト +/-5%、正電極が75オーム入力インピーダンス デジタル DVI-D TMDS、50オーム入力インピーダンスで各微分線、正電極に対して600mV
同期入力信号	個別水平および垂直同期、電極フリーTTLレベル、SOG（複合同期オン・グリーン）
AC入力電圧/周波数/電流	100 ~ 240 VAC / 50 または 60 Hz ± 3 Hz / 1.5 A
インラッシュ電流	120V: 42A (最大) 240V: 80A (最大)

物理 特性

コネクタ・タイプ	15-pin D-subミニ、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ
信号ケーブル・タイプ	デジタル：取り外し可能、DVI-D、固定ピン、モニタから取りはずして出荷 アナログ：取外可能、D-Sub、15pins、出荷時はモニタに取付

寸法（スタンド付き）：

高さ（圧縮）	16.4 inches (416.75 mm)
高さ（拡張）	21.5 inches (546.75 mm)
幅	16.35 inches (415.3 mm)
奥行き	8.62 inches (218.9 mm)

寸法：（スタンドなし）

高さ	13.45 inches (341.6 mm)
幅	16.35 inches (415.3 mm)
奥行き	2.81 inches (71.43 mm)

スタンド寸法：

高さ（圧縮）	13.56 inches (344.56 mm)
高さ（拡張）	18.54 inches (471.06 mm)
幅	11.84 inches (300.8 mm)
奥行き	8.39 inches (213.1 mm)

重さ（パッケージ含む） 21.1 lbs (9.55 kg)

重さ（スタンド・アセンブリとケーブル含む） 17.3 lbs (7.85 kg)

重さ（スタンド・アセンブリなし）
（壁取付またはVESA取付用 - ケーブルなし） 11 lbs (5 kg)

スタンド・アセンブリの重さ

5.2 lbs (2.35 kg)

環境

温度：	
運転時	5°～35°C (41°～95°F)
運転停止時	ストレージ：-20°～60°C (-4°～140°F) 出荷時：-20°～60°C (-4°～140°F)
湿度：	
運転時	10%～80% (結露しないこと)
運転停止時	ストレージ：5%～90% (結露しないこと) 出荷時：5%～90% (結露しないこと)
高度：	
運転時	3,657.6m (12,000 ft) 最大
運転停止時	12,192 m (40,000 ft) 最大
熱発散	211.937 BTU/時 (最大) 109.261 BTU/時 (一般)

モニターを清掃する



警告： モニターの清掃前には、[安全指示書](#)を読み、従ってください。



警告： モニターの清掃前には、電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。

- 静電気防止スクリーンを清掃するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン清掃ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- 軽く湿らせた、暖かい布を使って、プラスチックを清掃します。洗剤には、プラスチック上に乳膜を残すものがありますので、使用は避けてください。
- モニターを外したときに白い粉末がある場合は、布で拭きとってください。この白い粉末は、モニターの出荷時に発生します。
- 暗いプラスチックは、明るいプラスチックより白いカフマークを削り、表示するため、モニターの取扱には注意してください。
- モニターの最高の画像品質を保てるように、ダイナミックに変化するスクリーンセーバーを使用し使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。

[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)

調整可能モニター・スタンドを使う

Dell™ 1907FPVフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

- [スタンドを取り付ける](#)
- [ケーブルを調整する](#)
- [傾き、回転および高さを利用する](#)
- [スタンドを取り外す](#)

スタンドを取り付ける

 注意：モニターが工場から出荷されるときにはスタンドは取り外されて、伸ばした状態で出荷されます。



- スタンド上の3つの歯に、モニターの溝を固定します。
- スタンドの固定位置でロックされるまでモニターを下ろします。

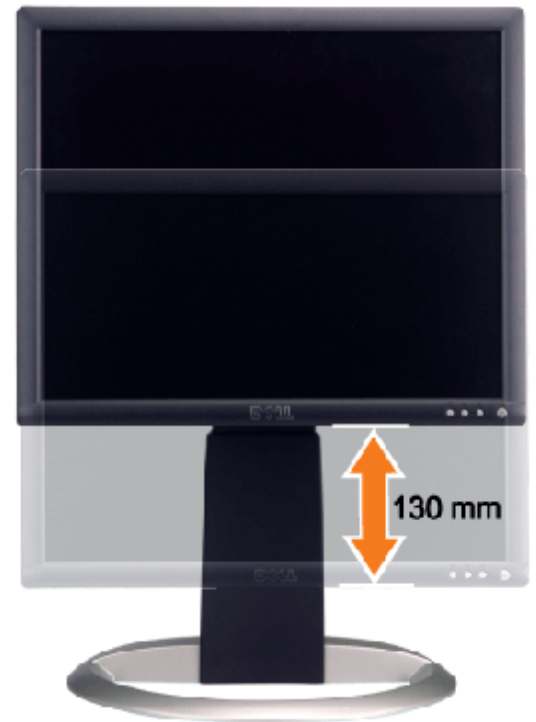
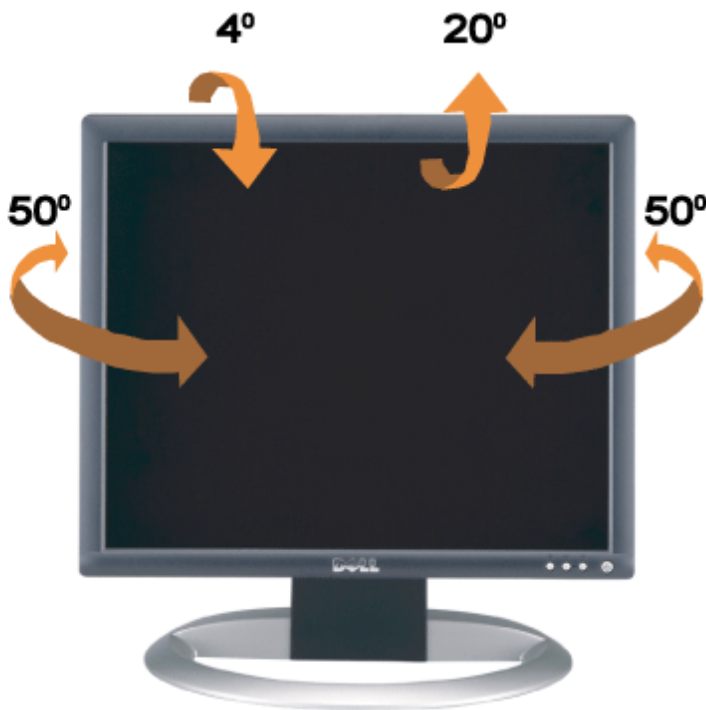
ケーブルを調整する




モニターおよびコンピュータに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください) 上記のとおり、ケーブル・ホルダを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

傾き、回転および高さを利用する

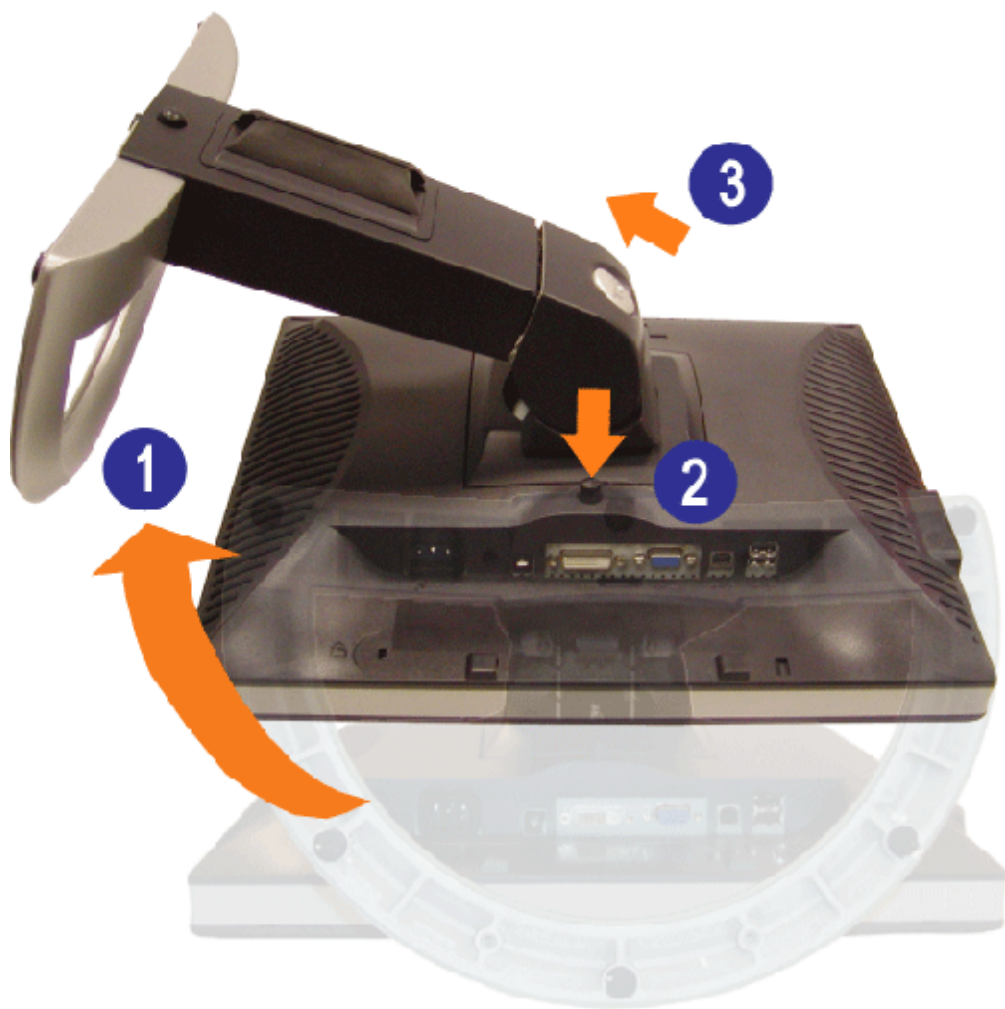
傾き、回転および高さ調整を使って、モニターを調整します。モニターは、表示ニーズにあわせて、最適に固定することができます。



スタンドは、スタンド・ロック/解除ボタン最大5.12インチ（130mm）まで、垂直に調整できます。モニターをスタンドの上下にスライドすることによって、目的の位置に調整することができます。

 注意：モニターを新しい場所に移動する前に、カチッと音がして正位置に収まるまでモニターを下ろして、スタンドをロックします。

スタンドを取り外す



 注意：モニター・パネルを柔らかい布またはクッションの上に置いた後、次の手順でスタンドを取り外します。

- スタンドを回転させて、スタンド解除ボタンにアクセスできるようにします。
- スタンド解除ボタンを押し、スタンドを持ち上げながらモニターから取り外します。

[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)

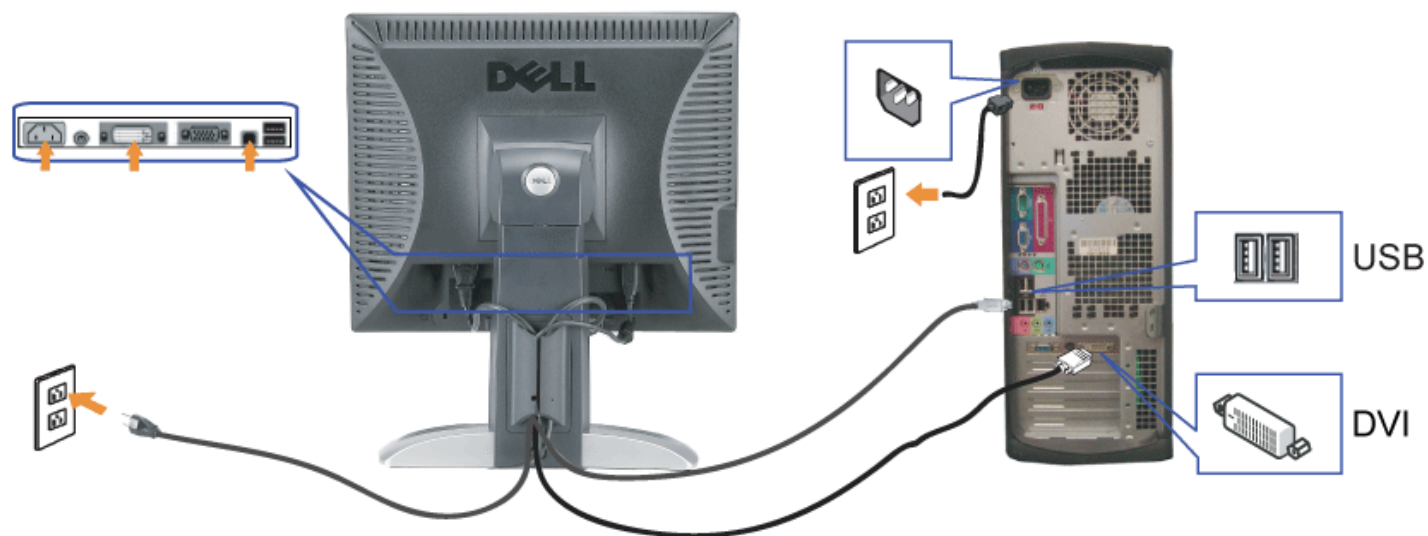
モニターを設定する

Dell™ 1907FPVフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

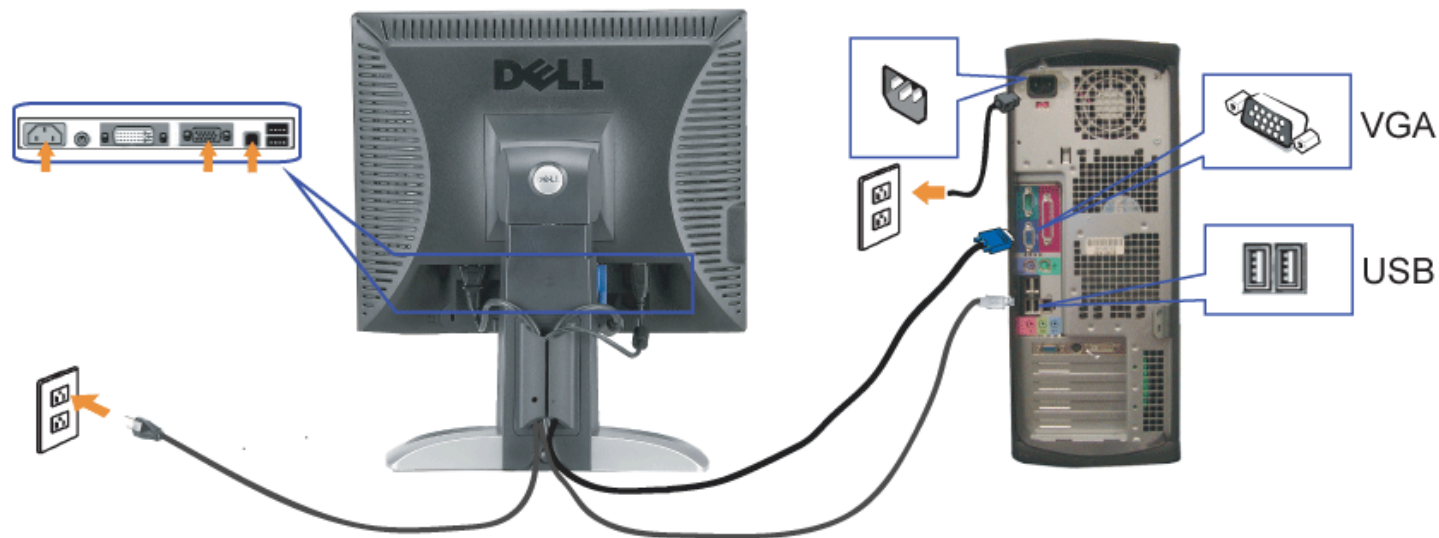
- [モニターを接続する](#)
- [正面パネルボタンを使う](#)
- [OSDメニューを使う](#)
- [最適解像度を設定する](#)
- [サウンドバー\(オプション\)を使う](#)

モニターを接続する

 警告：このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示書](#)にしたがってください。



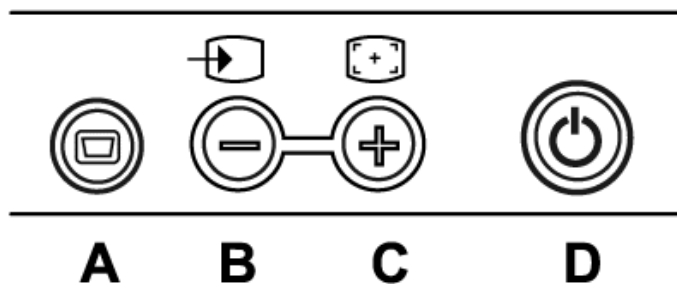
または



1. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
2. 白DVIまたは青VGAケーブルをコンピュータおよびモニターのコネクタに接続します。
3. モニターに付属しているUSBケーブルをコンピュータおよびモニター上のアップストリームUSBコネクタに接続します。このケーブルをコンピュータおよびモニターに接続すれば、モニター上のUSBコネクタを使用できます。
4. USBデバイスを接続する。
5. 電源ケーブルを接続する。
6. モニターおよびコンピュータの電源をオンにします。画像が見えない場合は、入力選択ボタンを押し、入力ソースが正しく選択されていることを確認します。それでも画像が映らない場合は、[モニターのトラブルシューティング](#)を参照してください。

正面パネルボタンを使う

モニタ前面のボタンを使用して画像設定を調整します。



メニューボタンを使って、画面上表示 (OSD) を開いて終了し、メニューおよびサブメニューを終了します。 [OSDメニューを使う](#)。




OSDメニュー/選択



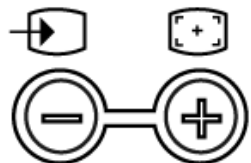
ビデオ入力選択

入力選択ボタンを使って、モニターに接続する2つの異なるビデオ信号の間のいずれかを選択します。

 注意：モニターがビデオ信号を感知できない場合、（黒背景に対して）[Dell-自己テスト機能チェック] ダイアログボックスが別に表示されます。選択した入力によって、下に表示されるダイアログの1つが継続してスクロールされます。

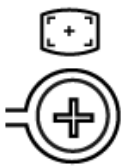


または



ダウン (-) およびアップ (+)


これらのボタンを使って、OSDメニューの項目（幅の減少/増加）を調整します。




自動調整

このボタンを使って、自動設定および調整を有効にします。モニターが電流入力を自己調整するときに、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。

Auto Adjust In Progress

自動調整  ボタンを使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、OSDのピクセル・クロック（粗い）、フェーズ（微調整）コントロールを使って、モニターをさらに調整できます。

 注意：自動調整は、有効ビデオ入力信号または付属ケーブルがない状態でボタンを押した場合には、発生しません。



電源ボタンとインジケータ

電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。

緑のライトは、モニターがオンで、完全に機能していることを表します。別のライトは、電源セーブ・モードを表します。

OSDメニューを使う



注意：設定を変更し、別のメニューに進むか、またはOSDメニューを終了する場合、モニターは、その変更を自動的に保存します。変更は、設定を変更し、OSDメニューが消えるのを待つ場合も保存されます。

□□□ メニューボタンを押して、OSDメニューを開き、メインメニューを表示します。

アナログ (VGA) 入力用メインメニュー



デジタル (DVI) 入力用メインメニュー



または

 注意：位置決めおよび画像設定は、アナログ (VGA) コネクタの使用時のみ利用できます。



□□□ - および + ボタンを押して、設定オプションを移動します。アイコンからアイコンに移動するときに、オプション名をハイライトします。モニター用に利用できるオプションすべての完全リストは、下表を参照してください。

□□□ メニューボタンを一回押して、ハイライトされたオプションを有効にします。

□□□ - および + ボタンを押して、必要なパラメータを選択します。

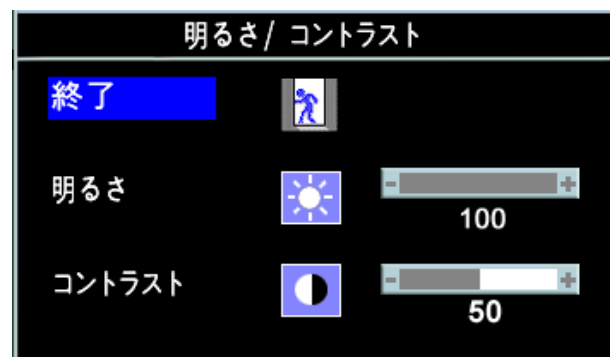
□□□ メニューを押して、スライダーを入力し、次に、メニュー上のインジケータにしたがって、- および + ボタンを使って、変更します。

□□□ メニューボタンを一回押して、メインメニューに戻り、別のオプションを選択するか、またはメニューボタンを2回または3回押して、OSDメニューを終了します。

アイコン	メニューおよびサブメニュー	説明
	終了	メインメニューを選択して、終了します。
	明るさ/コントラスト	明るさで、バックライトのルミナンスを調整します。 最初に 明るさを調整し、 さらに調整が必要な場合のみ、次に コントラストを調整します。 + ボタンを押して、ルミナンスを上げるか、- ボタンを押して、ルミナンスを下げます (最小0~最大100)。

コントラストで、モニタースクリーンの暗さと明るさの程度を調整します。

+ボタンを押して、コントラストを上げるか、-ボタンを押して、コントラストを下げます（最小0～最大100）。



 注意：DVIソースを使う場合、コントラスト調整は、利用できません。

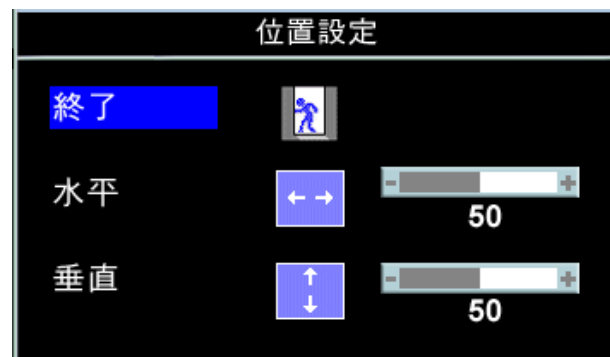


位置設定：水平
垂直

位置決めで、モニター・スクリーンの表示領域を移動させます。

水平または垂直設定を変更する場合、表示領域のサイズを変更することはできません。選択にあわせて、画像がシフトします。

最小値は0 (-)、および最大値は100 (+)です。



 注意：DVIソースを使う場合、位置決めオプションは、利用できません。

イメージ設定：
自動調整

周波数(粗い)

フェーズ(細かい)



コンピュータで、起動時にモニターを認識している場合でも、自動調整機能で、特定設定に使う表示設定を最適化できます。

選択すると、自動設定および調整が有効になります。モニターが電流入力を自己調整するときに、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。




自動調整を使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、画像設定の下でピクセル・クロック（粗い）、フェーズ（微調整）コントロールを使って、モニターをさらに調整できます。

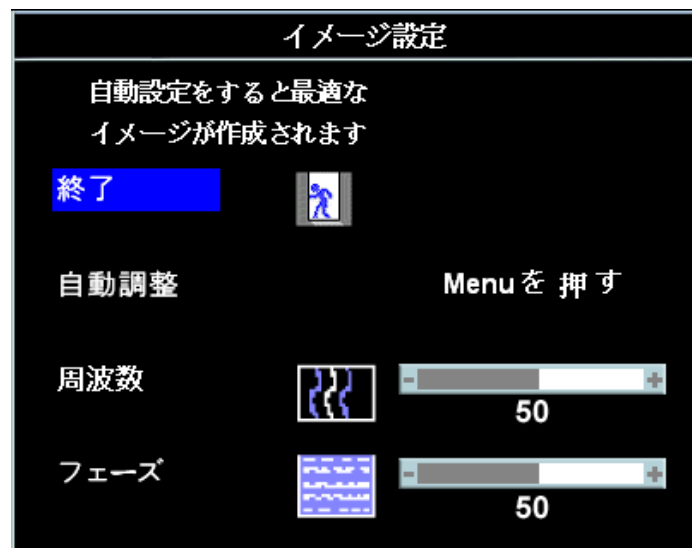
 注意：ほとんどの場合、自動調整で、設定に最適な画像が生成されます。


フェーズおよびピクセル・クロック調整で、モニターをお好みにより近く調整することができます。これらの設定は、画像設定を選択することで、メインOSDメニューからアクセスできます。

- および + ボタンを使って、調整します。（最小：0～最大：100）

フェーズ調整を使った結果がよくない場合、ピクセル・クロック（粗い）を使い、次にフェーズ（細かい）をもう一度使います。

 注意：この機能で、表示画像幅を変更できます。位置メニューの水平機能を使って、スクリーン上の表示画像をセンタリングします。



 注意：DVI ソースを使う場合、画像設定オプションは、利用できません。



カラー設定
青プリセット

赤プリセット
標準プリセット
ユーザ

色設定で、色温度、色合いおよび飽和度を調整します。

色合いは、白領域でもっとも分かりやすくなります。



- 青プリセットは、青褐色を取得するのに選択します。この色設定は、ふつうテキスト・ベースのアプリケーション（スプレッドシート、プログラミング、テキスト・エディタなど）に使います。
- 赤プリセットは、赤褐色を取得するのに選択します。この色設定は、ふつう色集中アプリケーション（写真画像編集、マルチメディア、

ムービーなど)に使用します。

- 標準プリセットは、デフォルト (工場出荷時) 色設定を取得するのに選択します。この設定は、sRGB標準デフォルト色スペースにもなります。
- ユーザ：プラスおよびマイナスボタンを使って、0~100まで1桁ずつ、3色それぞれ (R、G、B)を増減します。



OSD設定：



水平位置

垂直位置



OSD表示時間



OSD回転：



OSDロック



場所、メニューが画面上にある時間数およびOSDの回転を含めて、OSDの設定を調整します。

OSDの位置

- OSDの水平位置を調整するには、
 - および + ボタンを使って、OSDを左右に移動させます。
- OSDの垂直位置を調整するには、- および + ボタンを使って、OSDを上下に移動させます。

OSD表示時間

OSDは、使用中は有効のままになります。ホールドタイムを調整し、最後にボタンを押した後にOSDが有効になっている時間を設定します。- および + ボタンを使って、5~60秒までで、5秒ずつスライダーを調整します。

OSD回転：

OSDを反時計回りに90°回転させます。[モニターの回転](#) セクションにしたがって、調整します。

OSDロック：

調整に対するユーザアクセスを管理します。[はい] (+)を選択した場合、ユーザ調整はできません。メニューボタン以外は、ボタンはすべて、ロックされます。

- 注意：OSDがロックされている場合、メニューボタンを押すと、OSDロックを選択した状態で、ユーザは直接OSD設定メニューに進みません。[いいえ] (-)を選択して、ロック解除して、ユーザは適用可能なすべての設定にアクセスできます。



- 注意：メニューボタンを15秒間押し続けて、OSDをロックまたはロック解除することもできます。



言語

5ヶ国語 (英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語または日本語) のうち1つでOSD表示を行うように選択できます。



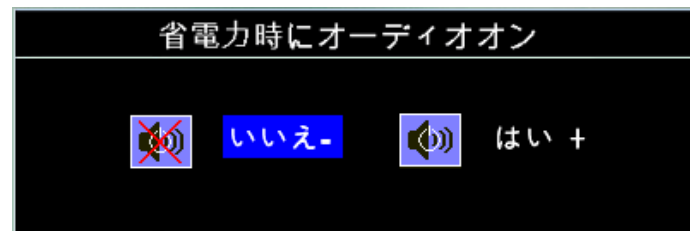
注意：変更によって、OSDにだけ影響がでますが、コンピュータで実行されているソフトウェアには影響を与えません。



オーディオ（オプション）

モニターが電源セーブ・モードの場合、オーディオをオンまたはオフにすることができます。

- はい - オーディオ設定を有効にする
- いいえ - オーディオ設定を無効にする（デフォルト）



注意：Dellサウンドバーがモニターに適切に接続されていない場合、オーディオメニューは利用できません。



オーディオ：

OSDメニュー・オプションを工場出荷時事前設定値にリセットします。



終了 — OSDオプションをリセットせずに、工場出荷時リセットメニューを終了するように選択します。

位置設定のみ — 画像位置の設定を元の工場出荷時の設定に戻します。

カラー 設定のみ — 赤、緑、および青設定を元の工場出荷時設定に戻し、通常事前設定のデフォルト設定にします。


全ての 設定 — 色、位置、明るさ、コントラストおよびOSDホールドタイムを含めたユーザ調整可能設定すべてを工場出荷時のデフォルト設定に戻します。OSDの言語は、変更されません。

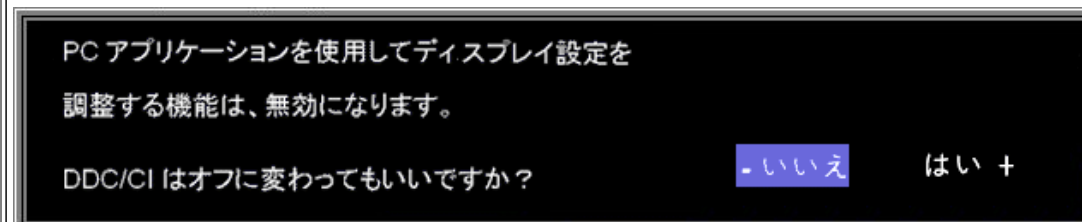
DDC/CI — DDC/CIコントロール機能を有効にします。

DDC/CI (表示データチャンネル/コマンドインターフェース)で、PC上のソフトウェアアプリケーションを使って、モニターパラメータ (明るさ、配色等)を調整できます。

デフォルトは、[有効]です。[無効]を選択して、この機能を無効にすることができます。

ユーザーがもっとも使いやすく、モニターの最適パフォーマンスを保つため、この機能は有効にしてください。

 **注意:** ユーザーが[無効]を選択する場合、下記のような警告メッセージボックスが表示されます。[はい]を選択すると、DDC/CI が無効となり、[工場出荷時にリセット]メニューに戻ります。警告メッセージは、20秒でタイムアウトとなります。



OSD警告メッセージ

次の警告メッセージのうち1つが、スクリーンに表示され、モニターが同期していないことを表します。



これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。モニターで使用するには、信号が高すぎるか、または低すぎます。このモニターで使用できる水平および垂直周波数幅については、[仕様](#)を参照してください。推奨モードは、1280 X 1024 @ 60Hzです。

 **注意:** モニターがビデオ信号を感知できない場合は、Dell自己テスト機能チェックダイアログが別に表示されます。

または



警告メッセージが何も表示されないことがあります。スクリーンには何も表示されません。これは、モニターがコンピュータに同期していないことも表しています。

詳細は、[問題を解決する](#) を参照してください。

最適解像度を設定する

- デスクトップを右クリックして、プロパティを選択します。
- 設定タブを選択します。
- 画面解像度を **1280 x 1024** に設定します。
- OK** をクリックします。

オプションとして **1280 x 1024** がない場合は、グラフィック・ドライバを更新する必要があります。コンピュータによっては、以下の手順のいずれかを完了してください。

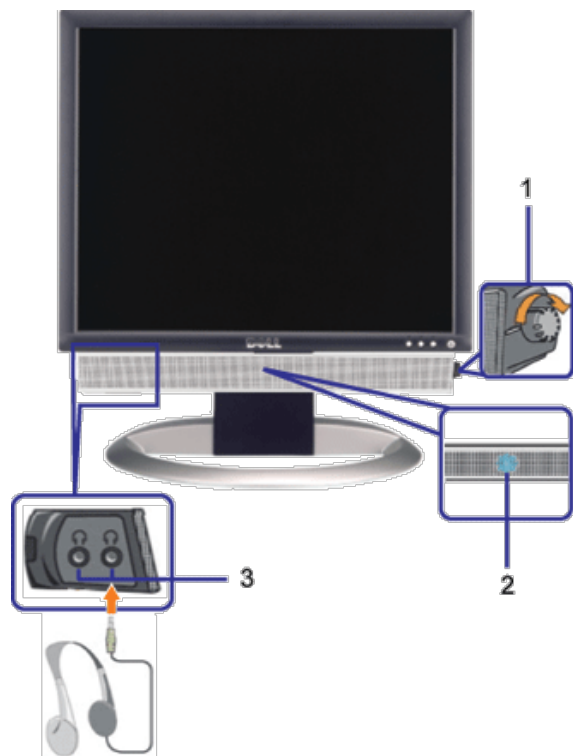
Dell デスクトップまたはポータブル・コンピュータをご使用の場合：

- support.dell.com に進み、サービス・タグを入力し、グラフィックス・カードに最新のドライバをダウンロードします。

Dell 以外のコンピュータ（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

- コンピュータのサポートサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。
- グラフィックス・カード・ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。

Dell サウンドバー（オプション）を使う



1. 電源/音量調節
2. 電源インジケータ
3. ヘッドフォン・コネクタ

モニターにサウンドバーを取り付ける



1. モニター背面から、2つのスロットをモニター背面の下部沿いにある2つのタブに合わせながら、サウンドバーを取り付けます。
2. サウンドバーが所定の位置にはめ込まれるまで、サウンドバーを左側にスライドさせます。
3. 電源コードをサウンドバーからモニター後部のコネクタに差し込みます。
4. サウンドバー背面から出る黄緑色のミニステレオプラグを、コンピュータのオーディオ出力ジャックに挿入します



注意：サウンドバーの電源コネクタ +12V DC出力は、オプションのDell™サウンドバー専用です。



注記：Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

モニターを回転させる

Dell™ 1907FPVフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

- [モニターの回転を変更する](#)
- [オペレーティングシステムにて回転の設定をする](#)


モニターの回転を変更する

モニターを回転させる前に、モニターの下の方角が回りにぶつからないように高さ ([縦に伸ばす](#))と角度([傾き](#))を調整してください。



オペレーティングシステムにて回転の設定をする

モニターを回転させて使用する場合、オペレーティングシステムにて次の手順を踏んでください。

 **注意：** Dellコンピュータ以外でモニターを使用している場合、グラフィックス・ドライバのウェブサイトまたはお使いのコンピュータの製造元ウェブサイトに進み、オペレーティング・システムの回転についての情報を確認します。

□□□ デスクトップを右クリックして、プロパティをクリックします。

□□□ 設定タブを選択し、アドバンスをクリックします。

□□□ ATIがある場合は、回転タブを選択して、お気に入りの回転を設定します。

nVidiaがある場合は、nVidiaタブをクリックして、左カラムで**NVRotate**を選択し、次にお気に入りの回転を選択します。

Intelがある場合は、Intelグラフィックス・タブを選択して、グラフィックス・プロパティをクリックし、回転タブを選択し、次にお気に入りの回転を設定します。



注意：回転オプションがない場合、または正常に作動しない場合は、support.dell.comで、グラフィックス・カード用の最新ドライバをダウンロードしてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

問題を解決する

Dell™ 1907FPVフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

- [モニターのトラブルシューティング](#)
- [全般問題](#)
- [製品別の問題](#)
- [USB 問題](#)
- [サウンドバーに関するトラブルシューティング](#)

 **警告：** このセクションで手続きをはじめの前に、[安全指示書](#)にしたがってください。

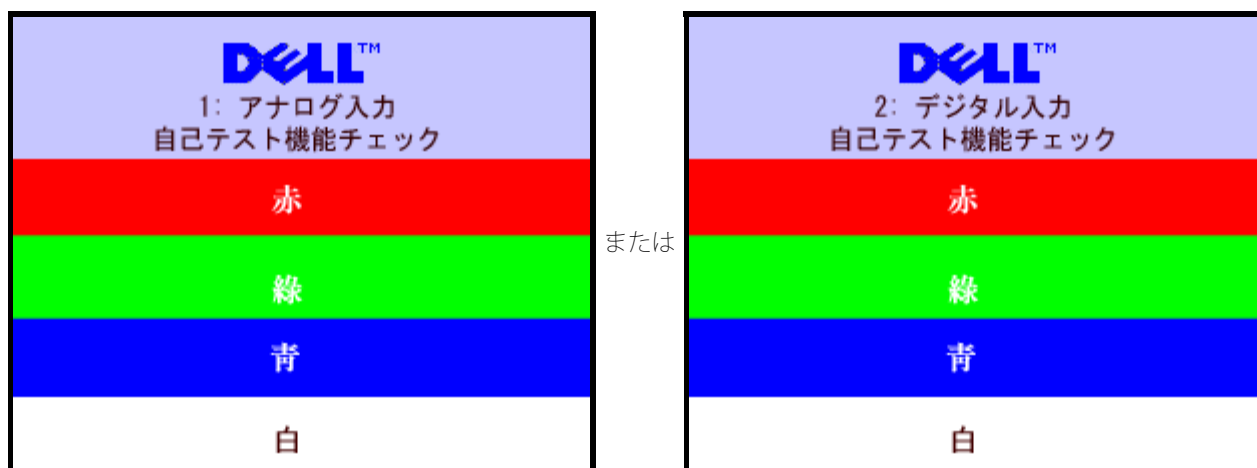
モニターのトラブルシューティング

自己テスト機能チェック (SIFC)

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：

- コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
- コンピュータの後ろかビデオ・ケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル（白コネクタ）とアナログ（黒コネクタ）ケーブル両方を外します。
- モニターの電源をオンにする。

モニターがビデオ信号を感知できない場合は、（黒背景に対して）[Dell-自己テスト機能チェック] ダイアログボックスが別に画面上に表示されます。自己テスト・モードでは、電源LEDが緑になります。また、選択した入力によって、下に表示されるダイアログの1つが画面上をスクロールし続けます。



ビデオ・ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。

- モニターの電源をオフにして、ビデオ・ケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター・スクリーンに何も表示されない場合、ビデオ・コントローラおよびコンピュータ・システム、およびモニターが適切に機能していることをチェックしてください。

OSD警告メッセージ

次の警告メッセージのうち1つが、スクリーンに表示され、モニターが同期していないことを表します。

また
は

これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。信号が、モニターが使用するには高すぎるか、または低すぎます。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#) を参照してください。推奨モードは、1280 X 1024 @ 60Hzです。

警告メッセージが何も表示されないことがありますが、スクリーンには何も表示されません。これは、モニターがコンピュータに同期していないか、またはモニターが電源セーブ・モードになっているかを表しています。

全般問題

次の表には、考えられるモニターに関する全般的な問題情報が記載されています。

一般症状	問題の説明	解決方法
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、モニターが無効	ビデオ・ケーブルの両端の接続統合をチェックしたら、モニターとコンピュータが、通電している電源コンセントに接続されていること、また電源ボタンを押していることを確認します
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、または明るさがない	<ul style="list-style-type: none"> モニター正面にある入力選択ボタンを押して、入力ソースが正しく選択されていることを確認します。 明るさとコントラスト・コントロールをアップします。 モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 ビデオ・ケーブルの両端のピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。 コンピュータとモニターをリブートします。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。	<ul style="list-style-type: none"> 自動調整ボタンを押します。 OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。 ビデオ拡張ケーブルを外します。 モニター・リセットを行います。 ビデオ解像度を下げるか、フォント・サイズを大きくします。
ビデオが揺れたり/ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none"> 自動調整ボタンを押します。 OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。 モニター・リセットを行います。 環境係数をチェックします。 場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCDスクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none"> サイクル電源オン - オフ これらは、永久にオフになっているピクセル、およびLCD技術で発生する自然な欠陥です。
明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> モニター・リセットを行います。 自動調整ボタンを押します。 明るさとコントラスト・コントロールを調整します。
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> 【位置設定のみ】でモニター・リセットを行います。 自動調整ボタンを押します。 センタリング・コントロールを調整します。 モニターが適切なビデオ・モードになっていることを確認します。
水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> モニター・リセットを行います。 自動調整ボタンを押します。 OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。

		<p>モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。
同期問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> モニター・リセットを行います。 自動調整ボタンを押します。 OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。 モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テスト・モードでも入るかどうを確認します。 ピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。 【セーフティ・モード】でブートアップします。
LCDに傷が入っている	スクリーンに傷やスマッジが入っている	<ul style="list-style-type: none"> モニターの電源をオフにして、スクリーンを清掃します。 清掃方法については、モニターの手入れを参照してください。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> トラブルシューティング手順を実行しないでください。 モニターの交換が必要です。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> モニターが適切なビデオ・モードになっていることを確認します。 コンピュータおよびフラットパネルへのビデオ・ケーブル接続がしっかりされていることを確認します。 モニター・リセットを行います。 モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テスト・モードでも発生するかどうかを確認します。
画像の解像度(聖しか像から)	静止画像からのかすかな影画面にディスプレイが表示されます	<ul style="list-style-type: none"> 電源管理機能を使用して、使用していないときは常にモニターの電源をオフにしてください。また、ダイナミックに変更するスクリーンセーバーを使用します。長期モニタに残ります。

製品別の問題

特定の症状	現況	解決方法
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none"> 【すべて設定】でモニター・リセットを行います。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSDがスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差して、電源を入れます。

USB問題

特定の症状	現況	解決方法
USBインターフェースが作動していない	USB周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none"> モニターの電源がオンになっているかを確認します。 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 USB周辺機器（ダウンストリーム・コネクタ）を再接続します。 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。
高速USB2.0インターフェースが遅い	高速USB2.0周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータがUSB2.0対応かどうかを確認します。

- コンピュータのUSB2.0ソースを確認します。
- アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。
- USB周辺機器（ダウンストリーム・コネクタ）を再接続します。

サウンドバーに関するトラブルシューティング

一般症状	現況	解決方法
音が出ない	サウンドバーに電源が入らない - 電源インジケータがオフになっている (内臓DC電源. 例. 1907FPV)	<ul style="list-style-type: none"> • サウンドバーの電源/音量ノブを中間位置に対して時計回りに回します。サウンドバー正面の電源インジケータ（緑LED）が点灯するかどうかを確認します。 • サウンドバーからの電源ケーブルがモニターに差し込まれていることを確認します。 • モニターの電源が入っていることを確認します。 • モニターに電源が入っていない場合、モニターの一般問題について モニターに関するトラブルシューティング を参照してください。
音が出ない	サウンドバーの電源が入っている - 電源インジケータがオンになっている。	<ul style="list-style-type: none"> • オーディオ・ラインイン・ケーブルをコンピュータのオーディオ・アウト・ジャックに差し込みます。 • すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。 • コンピュータでオーディオ・コンテンツをいくつか再生します（例. オーディオCDまたはMP3）。 • サウンドバーの電源/音量ノブを高音量設定に対して時計回りに回します。 • オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。 • 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします（例. ポータブルCDプレイヤー）。
音が曲がっている	コンピュータのサウンドカードをオーディオ・ソースとして使います。	<ul style="list-style-type: none"> • サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 • オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 • すべてのWindowsの音量コントロールを中間に設定します。 • オーディオ・アプリケーションの音量を下げます。 • サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 • オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。 • コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング • 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします（例. ポータブルCDプレイヤー）。
音が曲がっている	その他のオーディオ・ソースを使います。	<ul style="list-style-type: none"> • サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 • オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 • オーディオ・ソースの音量を下げます。 • サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 • オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。
音出力がアンバランス	サウンドバーの片側からだけ音が出る	<ul style="list-style-type: none"> • サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 • オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードまたはオーディオ・ソースのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 • すべてのWindowsオーディオ・バランス・コントロール（L-R）を中間に設定します。 • オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。 • コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング • 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします（例. ポータブルCDプレイヤー）。
低音音量	音量が低すぎる	<ul style="list-style-type: none"> • サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。

- サウンドバーの電源/音量ノブを最大音量設定に対して時計回りに回します。
- すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。
- オーディオ・アプリケーションの音量を上げます。
- 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします（例. ポータブルCDプレイヤー）。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

付録

Dell™ 1907FPVフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド


- [注意：安全指示](#)
- [FCC通知\(米国のみ\)](#)
- [Dellへのお問い合わせ](#)
- [モニター設定ガイド](#)

注意：安全指示

 **警告：** このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります。

コンピュータのモニターを接続して使用するときは、これらの指示書を読み、従ってください。

- コンピュータの損傷を避けるために、コンピュータの電源装置の電源選択スイッチが地域でご利用になれる交流(AC)電源に一致するように設定されていることを確認してください。
 - 115ボルト(V)/60ヘルツ(Hz) – 北米、南米、東アジア地域（日本、韓国（220ボルト(V)/60ヘルツ(Hz)も使用）、および台湾）。
 - 230ボルト(V)/50ヘルツ(Hz) - ヨーロッパ、中東、極東の大半。
- モニターが地域で使用できるAC電源で作動するように、電氣的に定格されていることを常に確認してください。

 **注：** このモニターは、AC電圧入力を設定するための電圧選択スイッチを必要としません。ユーザーズガイドの「電氣的仕様」で定義した範囲に従って、AC入力電圧を自動的に受け入れます。

- 熱、直射日光、または極端な低温にさらされる場所でモニターを保管したり、使用したりしないでください。
- 大きな温度差がある場所で、モニターを移動しないでください。
- モニターを激しい振動や強い衝撃にさらさないでください。例えば、モニターを車のトランクに収納しないでください。
- 高い湿度や埃っぽい環境にさらされる場所で、モニターを保管したり使用したりしないでください。
- 水やその他の液体をモニターの上や内部にこぼさないでください。
- フラットパネルモニターは、室温条件で保管してください。極端な高温や低温は、ディスプレイの液晶に悪い影響を与えることがあります。
- モニターの開口部に金属物質を挿入しないでください。感電の危険があります。
- 感電する恐れがあるため、モニターの内部に触れないでください。モニターのケースは、専門技術者だけが開けることができます。
- 電源ケーブルが損傷した場合は、絶対にモニターを使用しないでください。コンピュータのケーブルの上に物が置かれていないこと、またケーブルを通行の邪魔になるように配線されていないことを確認してください。
- コンセントからモニターを取り外すときは、ケーブルではなく、必ずプラグをつかむようにしてください。
- モニターのキャビネットの開口部は、換気のために設けられています。過熱の原因となるため、これらの開口部を塞いだりカバーをかけたらないでください。ベッド、ソファ、ラグ、またはその他の柔らかい表面でのモニターの使用は、キャビネット底面の換気用の開口部が塞がれることになるため、避けてください。モニターを本箱や囲まれた空間に設置する場合、適切な換気と空気の流れがあることを確認してください。
- モニターは、湿度が低く埃の少ない場所に設置してください。湿った地階や埃っぽい通路などには設置しないでください。

- モニターを雨にさらしたり、（台所、水泳プールの傍など）水気のあるところで使用しないでください。モニターに誤って水がかかった場合、直ちにコンセントを抜き、正規代理店にご連絡ください。清掃の必要があるときは、まずモニターのプラグを抜き、湿った布で拭いてください。
- モニターはしっかりとした表面に置き、注意して取り扱ってください。スクリーンはガラス製で、落したり打ち付けたりすると簡単に傷が付きます。
- モニターは、コンセントのすぐ傍に設置してください。
- モニターが正常に作動しない場合、特に、異常な音や匂いがする場合は、直ちにプラグを抜き、正規代理店またはサービスセンターに連絡してください。
- 背面カバーを取り外さないでください。感電の恐れがあります。背面カバーは、専門技術者しか開けることはできません。
- 高温が問題の原因となることがあります。モニターを直射日光のあたるところで使用したり、ヒーター、ストーブ、暖炉、その他の熱源の傍に設置しないでください。
- 長期間使用しない場合は、モニターのプラグを抜いてください。
- 修理を行う場合は、必ずコンセントからモニターのプラグを抜いてください。
- 使用済製品の回収につきまして



上記PCリサイクルマークが表示されている当社製品は、当社が無償で回収・再資源化いたします。
なお、PCリサイクルマークが表示されていない当社製品は、有償にて回収・再資源化となりますので、ご了承ください。
詳細は、以下のURLをご覧ください。

<個人のお客様> <http://www1.jp.dell.com/content/topics/segtopic.aspx/environment/main?c=jp&l=jp&s=corp&~section=personal>

<法人のお客様> <http://www1.jp.dell.com/content/topics/segtopic.aspx/environment/main?c=jp&l=jp&s=corp&~section=corporation>

FCC通知(米国のみ)

FCCクラスB

本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます。

- 1 電波障害を起こさないこと。
- 2 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

➡ 通知: FCC規制ではDell™ Incで明示的に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があることを規定しています。

これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。


- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。

必要に応じて、Dell Inc.の代理店、またはラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

次の情報は、FCC規制に準拠して本書で取り上げられるデバイスで提供されます。

- 製品名：1907FPV
- モデル番号：1907FPVt
- 会社名：


Dell™ Inc.
世界的法規制遵守および環境問題。
One Dell™ Way
Round Rock, Texas 78682 USA
512-338-4400

 注：詳細な規制情報については、製品情報ガイドを参照してください。


Dellへのお問い合わせ

Dell社にはインターネットおよび電話にてお問い合わせいただけます：

- **www.dell.com.jp**
- ウェブページからサポートを受けるには、**support.dell.com** (テクニカルサポート) をご覧ください。
- ウェブページから世界各地のサポートを受ける場合、ページ下の【国 / 地域を選択する】メニューを使うか、下表に記載のウェブアドレスを参照してください。
- メールでのサポートは、下表に記載のメールアドレスを参照ください。

 注：国によっては、Dell™ XPS™ コンピュータ専用サポートの電話番号が、参加国に記載の番号とは別の場合があります。XPS コンピュータ専用番号が記載されていない場合、記載のサポート用電話番号から、Dell 社にお問い合わせいただければ、担当部署におつなぎします。

- 電話でのお問い合わせにつきましては、下表の電話番号とコードをお使いください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

 注：提供された連絡先情報は、このドキュメントが印刷された時点で正しいものとみなされ、予告なしに変更することがあります。

国(市) 国際電話アクセスコード 国番号	部署名またはサービス地域 ウェブサイトおよび E-メールアドレス	市内番号 フリーダイヤル
日本 (川崎)	Web サイト: support.jp.dell.com	
国際電話アクセスコード: 001	テクニカルサポート (海外から) (サーバー)	フリーダイヤル: 0120-198-498
国番号: 81	テクニカルサポート (サーバー)	81-44-556-4162
市外局番: 44	テクニカルサポート (Dimension™ および Inspiron™)	フリーダイヤル: 0120-198-226
	テクニカルサポート (海外から) (Dimension™ および Inspiron™)	81-44-520-1435
	テクニカルサポート (Dell Precision™、OptiPlex™、および Latitude™)	フリーダイヤル: 0120-198-433
	テクニカルサポート (海外から) (Dell Precision™、OptiPlex™、および Latitude™)	81-44-556-3894
	テクニカルサポート (PDA、プロジェクター、プリンター、ルーター)	フリーダイヤル: 0120-981-690
	テクニカルサポート (海外から) (PDA、プロジェクター、プリンター、ルーター)	81-44-556-3468
	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24時間お届け予定案内電話サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部 (従業員数400人未満)	044-556-1465

法人営業本部（従業員数400人以上）	044-556-3433
官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-5963
デルグローバルジャパン	044-556-3469
個人のお客様	044-556-1760
代表	044-556-4300

モニター設定ガイド

PDFファイルを表示する（.pdf 拡張付きファイル）には、ドキュメント・タイトルをクリックします。PDFファイル（.pdf拡張付きファイル）をハードドライブに保存するには、ドキュメント・タイトルを右クリックして、Microsoft Internet Explorer で名前を付けて保存をクリックするか、またはNetscape Navigatorで名前を付けてリンクを保存し、次にファイルを保存する先のハードドライブの場所を指定します。

[モニター設定ガイド（西）（.pdf）（14 MB）](#)

[モニター設定ガイド（東）（.pdf）（14 MB）](#)



注: PDFファイルには、Adobe® Acrobat® Reader®が必要です。Adobeウェブサイトからダウンロードできます。
PDFファイルを表示するには、Acrobat Readerを起動します。次に、ファイル→開く をクリックして、PDFファイルを選択します。

[目次ページに戻る](#)